

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	子どもの可能性を伸ばす教育の充実	基本事業	教育内容の充実		
部名	教育部	事業開始年度	昭和63年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室 学校教育課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内中学校生徒
手段	市内中学校で英語の授業を行う際に、外国語指導助手 (ALT) を派遣し、チーム・ティーチングを行う
意図	外国人とコミュニケーションをとる機会を提供することにより、生徒の基礎的・実践的コミュニケーション能力 (聞く話す読む書く) の向上を図る。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算	25年度予算	目標
対象指標1	中学校生徒数	人	3,779	3,645	3,578	3,430	
対象指標2							
活動指標1	外国語指導助手人数	人	2	2	2	2	
活動指標2	ALTによる1クラス当たりの授業時数 (年間)	時間	7.8	6.9	7.8	6.9	
成果指標1	英語の総授業時数のうちALTが授業に入った割合	%	7.9	7.9	7.9	7.9	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計 (A)		千円	8,762	8,905	8,931	8,921	0
正職員人件費 (B)		千円	1,612	1,605	1,619	1,611	0
総事業費 (A) + (B)		千円	10,374	10,510	10,550	10,532	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)	

25年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ25年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 23年度もしくは24年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 25年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性 (コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性 (成果)	向上			
	維持			
	放低下			